

令和6年1月23日

製菓商品 異物付着事故発生と今後の安全対策について

2023年12月28日、当法人の愛和ハウス製造のパウンドケーキ異物付着事故が発生しましたことに対し、ご迷惑・ご心配をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、原因究明と今後の安全対策についてご報告いたします。

○事故内容

- ・賞味期限内にパウンドケーキ(レモンパウンド)に異物が付着していました。

○経過

- ・お客様よりカビの様な異物が付着していると連絡を受け、当該商品をご返送頂き、商品を確認。
- ・同日に製造を行いましたパウンドケーキにつきましては、既存お取引様へ出荷していることが判明し確認を行いました。当該商品を除いていずれからも同様の付着は確認できませんでした。

○原因

お客様から返送して頂いたレモンパウンドを検査機関に異物検査の依頼を行うとともに行政機関への報告を行いました。

検査の結果、パウンドケーキに付着した異物は金属粉を多く含むものと推定するという検査結果がでました。

検査機関より金属粉を含むものであり、真菌(カビ)は検出されずと報告があり、パウンドケーキをカットするスライサーの刃もしくはスライサーに付属されている砥石(アルミナ)金属粉ではないかと考えましたが、金属の粉が黒い筋状になっており、粒子が細かいすぎるため2次検査(X線分析)が出来ず成分特定が困難との説明がありました。

この結果を受けて、砥石と研がれたスライサーの刃の可能性を確認いたしました。砥石・スライサーの刃に非常に近いものと回答を頂きました。

○事故発生を受けて取り組んだこと

- ・行政機関より、調理器具や作業場での衛生管理の徹底を行うよう指導を頂き、機械式の1枚切スライサーの分解全面清掃を行いました。

- ・1枚切スライサーの衛生上の問題からスライサーの使用を停止し、全てのパウンドケーキの製造を1月12日より停止しています。また機械式の1枚切のスライサーの安全に使用することができるかの検証を行いました。

○再発防止としての安全対策

- ・機械式の1枚切スライサーの使用は中止し、パウンドケーキの製造に関して、専用の包丁を購入し、衛生面の観点からその都度のアルコール洗浄を行い使用します。
- ・今後、異物混入等が発生しない様、パウンドケーキの製造から封入まで各工程での製造責任者による検品を徹底します。

この度の異物混入事故を重く受け止め、このようなことが二度と起こらないよう最善の努力をつくしてまいります。今後ともご理解ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

社会福祉法人なごみ福祉会
理事長 松阪 仁美